

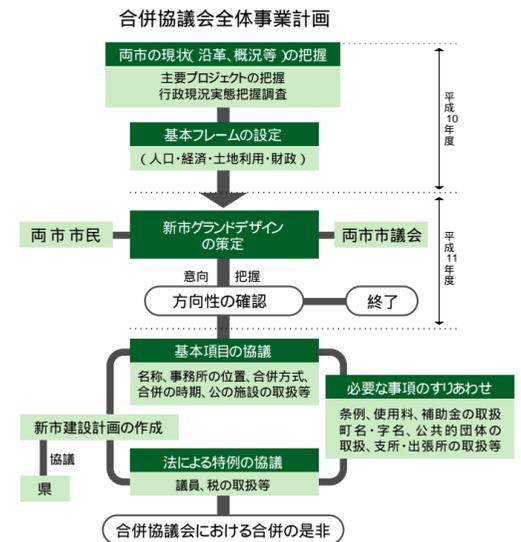
静岡市・清水市合併協議会のあゆみ

年月日	事業名	内容
平成10年 5月15日	第1回合併協議会	・特別記念講演「分権型社会の創造と広域都市づくり」 自治大臣官房審議官(財政担当)石井隆一氏 ・会議運営規程、幹事会規程の制定 ・平成10年度事業計画、予算の決定
7月4日	第2回合併協議会	・全体事業計画の決定 ・平成10年度事業スケジュールの決定
8月25日	仙台市視察調査	
8月26日	浦和市・大宮市・与野市合併推進協議会視察調査	
10月26日	第3回合併協議会	・両市行政現況把握調査(1)概要調査、(2)特性指標調査の報告
11月9日～25日	新市グランドデザイン市民意識調査	・5,655人(有権者の1%)
12月22日	第4回合併協議会	・平成11年度事業概要の決定 ・新市グランドデザイン策定基礎調査の中間報告
平成11年 3月6日	公開セミナー	・第1部「21世紀に求められる地方都市像」中央大学教授 佐々木信夫氏 ・第2部「時代の変化を活用するための人づくり」人材育成コンサルタント 幸淑玉氏
3月15日	合併協議会だより 創刊号	・両市の全世帯へ配布
3月23日	第5回合併協議会	・平成11年度事業計画、予算の決定 ・新市グランドデザイン策定基礎調査の最終報告 ・新市グランドデザイン市民意識調査の報告
6月2日	第6回合併協議会	・平成10年度決算の認定 ・平成11年度事業スケジュールの決定 ・新市の都市ビジョンの協議(フリーディスカッション)
7月6日	両市主要施設(事業)の現地調査	
7月10日	第7回合併協議会	・市民フォーラムの開催 基調講演「グランドデザインの意味と役割」静岡県立大学教授 北大路信郷氏 市民10人意見発表 ・新市の都市ビジョンの協議(市民フォーラムを踏まえ)
7月11日～8月10日	タウンミーティング	7月11日(静岡市西奈公民館)・7月17日(静岡市南部公民館)・7月18日(静岡市北部公民館)・ 7月21日(清水市有度公民館)・7月24日(清水市役所)・7月28日(静岡市長田公民館)・ 8月6日(静岡市中央公民館)・8月9日(清水市折戸公民館)・8月10日(清水市農村環境改善センター)
7月19日	堺市視察調査	
8月11日	第8回合併協議会	・市民意見のまとめ(タウンミーティング) ・新市の都市ビジョンの協議(一応のまとめ)
9月6日	第9回合併協議会	・新市の都市ビジョンの決定 ・都市ビジョン実現のための計画づくりについての協議 ・4部会設置 第1部会 / 部長 望月厚司(清水市議会議員) 副部長 片山卓(静岡市議会副議長) 第2部会 / 部長 井上恒弥(静岡市議会議員) 副部長 田中敬五(清水市議会副議長) 第3部会 / 部長 青島廣幸(静岡商工会議所副会頭) 副部長 金子昌義(清水市議会議員) 第4部会 / 部長 村上達雄(清水商工会議所副会頭) 副部長 織田高行(元(社)静岡青年会議所理事長)
9月13日～10月8日	第1部会(第1回9月13日)・第2部会(第2回9月23日)・第3部会(第3回10月8日) 第2部会(第1回9月15日)・第2部会(第2回10月2日)・第3部会(第3回10月8日) 第3部会(第1回9月17日)・第2部会(第2回9月24日)・第3部会(第3回10月4日) 第4部会(第1回9月19日)・第2部会(第2回10月3日)・第3部会(第3回10月7日)	
10月16日	正副会長・正副部会長会議	・部会の協議状況報告
10月22日	第10回合併協議会	・部会協議のまとめ ・新市グランドデザイン中間案の決定
11月1日～15日	市民アンケート調査	・新市グランドデザイン中間案に対する市民意見の把握等
11月24日	市民シンポジウム	・基調講演「静岡県における静岡地域の役割と期待」 静岡県知事 石川嘉延氏 ・新市グランドデザイン中間案に対する市民意見の聴取
12月10日～12日	第1部会(第4回12月12日)・第2部会(第4回12月12日)・第3部会(第4回12月10日)・第4部会(第4回12月12日)	
12月22日	第11回合併協議会	・新市グランドデザイン中間案に対する市民意見の整理 ・新市グランドデザイン最終案の決定
平成12年 1月19日～2月6日	地区説明会	1月19日(清水市有度公民館)・1月22日(静岡市西奈公民館)・1月23日(静岡市中央公民館)・ 1月24日(清水市折戸公民館)・1月26日(清水市役所)・1月29日(静岡市長田公民館)・ 1月30日(静岡市北部公民館)・2月2日(清水市農村環境改善センター)・ 2月4日(静岡市中央公民館玉川分館)・2月6日(静岡市南部公民館)
2月13日	第1部会(第5回)・第2部会(第5回)・第3部会(第5回)・第4部会(第5回)	
2月24日	第12回合併協議会	・新市グランドデザイン最終案に対する市民意見の整理 ・新市グランドデザインの決定

これからの流れ

静岡市・清水市合併協議会では、平成12年3月2日開催予定の第13回合併協議会で合併の方向性を確認することとしていきます。

そして、合併の方向性を確認し、合併に向けたより具体的な協議を進めていこうとの結論が得られたならば、右の全体事業計画に則して、平成12年度以降、新市の名称、合併の方式や期日など両市の合併に必要な基本的事項に関する協議を行うとともに、具体的な両市の事務事業に関する一元化作業の実施、さらには、新市建設計画の策定を行い、合併協議会としての合併の是非を決定することとなります。



Q&A

このように着実かつ円滑に協議を進めている合併協議会ですが、現時点で、市民の皆さんから主に次のようなご質問が寄せられておりますので、お答えします。

Q1市民に対してPR不足ではないか。

A 合併協議会では、協議の内容を全面的に公開するとともに、広報紙などを通して、できるだけ積極的なPRに努めています。また、市民フォーラムやタウンミーティング、市民シンポジウムなど、市民の皆さんに直接参加していただける機会を数多く設けてきました。今後、合併協議会が第2期に移行した場合は、より具体的に身近な問題が協議されることとなりますので、広報についてさらに工夫し、市民の皆さんの間に議論の輪が広がるように、引き続き努力していきます。

Q2合併のメリットとデメリットは？

A 合併のために必要な協議は、両市に関わるあらゆる事柄に及んでいます。個々の市民にとって、メリットになることもあればデメリットになることもありますし、一つの事柄についても、立場や考え方の違いによってメリットにもデメリットにもなりますので、一概にメリット・デメリットと区別して決めつけることができません。そこで、合併協議会では、まず、仮に合併したら実現できる30年から40年後のまちの姿を描く「新市グランドデザイン」を策定するなど、長期的な視点から両市の合併について協議し、その上で、合併の方向性が確認された後に、第2期協議で具体的な事柄を協議していこうと考えています。

Q3合併によって実現できることは何か？

A 「新市グランドデザイン」の中には、現在、両市が計画や実施中の事業も、新市の建設に資すると思われる事業は、掲載されています。しかし、今回掲げた、まちづくりの4つの基本目標は、いずれも、合併することではじめて実現できるものです。また、主要施策や重点事業も、この基本目標を実現するための政策大綱に則して位置づけられています。なお、具体的な事業の詳細は、第2期協議で策定を予定している「新市建設計画」の中で明確にしていきます。

Q4各事業の実施時期、財源、事業主体などを明確にすべきではないか？

A 主要施策や重点事業の事業主体については、新市だけでなく、国、県、第3セクター、民間など、新市建設に関わると考えられるあらゆるものを想定しています。仮に第2期に移行した場合、10年程度の間に行われる新市の建設に資する主要事業を盛り込んだ「新市建設計画」を策定することになります。この計画では、具体的な財政計画を踏まえて、財源の内訳や、事業主体、実施時期などを明らかにしていきます。